

第16回

企業活動の基礎
企業倫理

執筆・講師 岩瀬紀子



学習のねらい

企業も私たちと同じように、社会の一員として良心をもって行動することが求められています。しかし、利益だけを追求したビジネスが、環境破壊や欠陥商品の隠ぺい、産地の偽装といった企業不祥事を起こしています。企業不祥事を起こさないためにはどのような考え方やしくみが必要かについて学習します。

調べておこう・覚えておこう

コンプライアンス／社会的責任／企業倫理／企業不祥事

※空欄 を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

👉 Point ① 企業活動と企業倫理

私たちが社会のなかで良心をもって行動することが大切なと同じように、企業も良心をもって行動することが求められています。この企業の良心を「企業倫理」といいます。

企業にとって利益を追求することは大きな目標ですが、社会の一員としての「 ① 」も果たさなければなりません。

企業の社会的責任には、

- 納税
- 良質で安い価格のものやサービスの提供
- 出資者への利益の配分
- 雇用と賃金や労働条件の改善
- 自然環境の保護、生活環境の保全

などがあります。

企業も社会の一員として、良心をもって行動すること、つまり ② を求められています。

②は番組出題問題です。

👉 Point ② 利益の追求と企業不祥事

企業が企業倫理を忘れ、企業の利益だけを追求すると、どのようなことが起こるでしょうか。環境への影響や製品の安全性、消費者の利益を無視した企業活動が、公害問題や欠陥商品の隠

ぺい、産地の偽装といった企業不祥事を引き起こすことにつながります。番組では過去に発生した「振袖レンタル詐欺事件」「マンションの耐震偽装」「石油ファンヒーターの死亡事故」「自動車の欠陥情報の隠ぺい」などの企業不祥事を紹介しますが、残念ながらこうした不祥事はたびたび起こっています。不祥事の結果、会社や消費者はどのような影響を受けるのかということについて考えてみるのが大切です。

企業が企業倫理を忘れ、利益だけを追求すると、環境問題・公害問題・隠ぺい・偽装などといった ③ を起こすことにつながります。

③は番組出題問題です。

Point ③ 企業不祥事を起こさないために

企業が不祥事を起こさないための方策についてみてみましょう。

▶コンプライアンス

企業が法律などの規則を守り、社会の一員として企業倫理に則った行動をすることを「コンプライアンス（法令遵守）」といいます。企業はコンプライアンスを重要なものとしてとらえ、健全な企業活動を行わなくてはなりません。

▶コーポレートガバナンス

企業不祥事を避けるため、一部の経営者や従業員の判断だけで企業活動が行われないようにする取り組みやしゅくみを「コーポレートガバナンス」といいます。

コーポレートガバナンスの例には、企業の行動規範をつくること、それを浸透させるための研修会を開催すること、「社外取締役制度」の導入、利害関係者への「情報公開」などがあります。

しゅくみができても、実際に働いている経営者や従業員一人ひとりが倫理観を持って活動しなければ意味がありません。そのことをよく理解しましょう。

企業が不祥事を起こさないための方策には「 ④ 」「コーポレートガバナンス」などがあります。

④は番組出題問題です。

解答欄

① _____ ② _____

③ _____ ④ _____

とくくくくくくく④ 重社上業社③ 証業業社② 刊業社社社社①：と景